

## 検証・課題分析等の全体概要

### 【目的】

- 東京農業大学の施設建設・維持管理を通じ、BIM活用を『発注者の利益』に結び付けるための検証を行い、「発注者視点のBIM活用」が、意思決定迅速化や受注者側との情報の非対称性の低減による納得感向上、良質な社会資産形成を目指す。

### 【実施概要】

- BIMを活用した建築生産・維持管理プロセスの円滑化による発注者側のアクティビティ分析
- 入札契約上の課題抽出から、標準的なEIRフォーマットや、受発注者間のフェアな「BIM活用に関する契約条件」の検討を行う

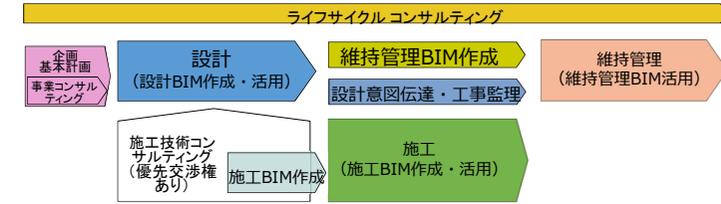


## 検証の対象

標準ワークフローのパターン：④'

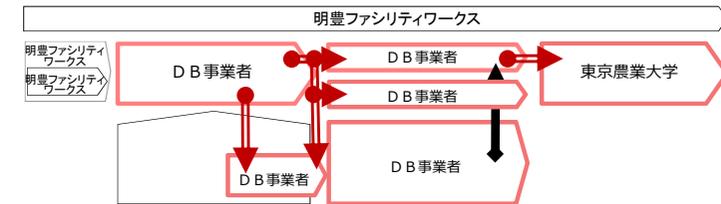
### 【業務内容】

※着色部分が検証対象



### 【データ受渡】

※着色部分が検証対象  
※記載文字は実施主体を示す



## 検証する定量的な効果とその目標

- 1) BIM活用による学内合意形成の円滑化に伴う発注者業務量・時間の削減 10%**
  - 発注者側のBIM積算連動における予算算出の迅速化、タイムリーな情報の把握による効果
  - 大容量データの取り扱いやWEB会議活用などICTの技術進歩におけるBIM活用の効果
- 2) BIM活用によるコミュニケーション円滑化に伴う、研究室ヒアリング手法の効率化 20%**
  - 各研究室の要望把握のため行ったヒアリングプロセスをBIM活用した場合の効果

## プロジェクト概要

プロジェクト区分： 新築/維持管理  
 検証区分： これからBIMを活用/既に実施済

用途： A: 大学研究施設 B: 大学校舎  
 階数： A: 地下1階、地上8階 B: 未定  
 延床面積： A: 約46,000㎡ B: 約3,500㎡  
 構造種別： A: 鉄骨造 B: 未定

## 分析する課題

- 1) 発注者情報要件 (EIR) の標準的な在り方**
  - 企画～設計・施工～竣工後に活用可能なBIMデータ要件の課題抽出
  - 発注者、CM、設計・施工者・維持管理者との円滑なBIMデータ連携、共有の課題抽出
  - 受発注者間にフェアな「BIM活用に関する契約条件」を構築するための課題抽出
- 2) BIMを活用した施設の維持管理において発注者が求める情報の抽出**
  - 発注者の施設維持管理の課題を整理し、BIMデータや設備機器IoTとのデータ連携の課題分析

## 応募者の概要

代表応募者： 明豊ファシリティワークス株式会社  
 共同応募者： なし  
 提案者の役割： PM/CM

令和2年度  
 建築BIM推進会議連携事業

BIM活用が、発注者側と受注者側（設計者・施工者等）との「情報の非対称性の低減」に結びつき、そのことが双方の建設事業のプロセス改善に寄与できることを目的に、本提案では「発注者の利益」に着目して分析・検証を行います。

